

森研第41号の2  
令和3年6月16日

関係機関・団体の長 様  
関係各位

岐阜県森林研究所長

### 令和3年度岐阜県森林研究所「研究成果発表会」の開催について

平素は、当所の試験研究業務推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

つきましては、下記のとおり研究成果発表会を開催いたしますので、多くの皆様に御参加いただきたく御案内申し上げます。

なお、今回は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、皆様が一堂に会することを避けオンラインで開催します。

### 記

#### 1. 開催日時および場所

日時：令和3年7月16日（金）13：15～16：00（13：00より接続可能）

方法：Cisco Webex Events を利用したオンラインセミナー形式による開催

#### 2. プログラム（発表の内容は別紙のとおり）

13:15～13:20 開会・あいさつ

13:20～13:45 発表1 ツリーシェルターがスギ植栽木の食害防止と成長に及ぼす影響  
部長研究員 大橋 章博

13:45～14:10 発表2 岐阜県におけるヒノキ根株腐朽被害の被害実態  
主任研究員 片桐 奈々

14:10～14:35 発表3 野外でコナラの根にトリュフ菌を感染させる  
主任専門研究員 水谷 和人

14:35～14:45 休憩

14:45～15:10 発表4 森林路網の災害リスク評価  
専門研究員 白田 寿生

15:10～15:35 発表5 中温域でのスギ心去り平角材の人工乾燥事例  
主任専門研究員 土肥 基生

15:35～16:00 総合討論

16:00 閉会

#### 3. 申込み方法

・メール本文に 1. 企業・機関名等 2. 参加者氏名を御記入のうえ、下記申込み先へ電子メールにてお申込みください。

（一機関から複数名の方が参加される場合についても、それぞれの方から申込みください。）

・申込み先 : [info@forest.rd.pref.gifu.jp](mailto:info@forest.rd.pref.gifu.jp)

・申込み期限： 令和3年7月9日（金）

※氏名等の個人情報につきましては、当成果発表会のためのみに使用し、第三者に情報を提供することはありません。

#### 4. 申込み後の流れ

- ・当日のオンラインセミナーの URL やパスコード等の詳細は、7月13日(火)に参加申込者の方へメールにてお送りします。
- ・参加者のための接続テストを7月14日(水)、15日(木) 10:00~17:00に実施します。Webex での受講が初めての方や接続環境に不安がある方はお気軽にご参加ください。  
(接続テストの内容:映像チェック、音声チェック)

#### 5. 参加に必要な環境

- ・参加者はCisco Webex Events のアプリをインストールする必要はなく、ブラウザ(Google chrome、Microsoft Edge、safari 等)による参加が可能です。ただし、発表資料だけでなく、発表者本人のライブ映像をご覧になるにはCisco Webex Meetings のアプリが必要になります。
- ・発表の聴講にあたって、カメラ、マイクは必要ありません。

#### 6. 参加にあたっての留意事項

- ・本成果発表会に関して、内容の録画、録音、撮影、スクリーンショット等をご遠慮ください。
- ・参加者の方の PC やネットワーク設定、会議ソフトのトラブル等には対応いたしかねますのであらかじめご了承ください。

#### 7. 問い合わせ先

- ・岐阜県森林研究所 (〒501-3714 美濃市曾代 1128-1) 担当:片桐・田中
- ・電話: 0575-33-2585 FAX: 0575-33-2584
- ・電子メール: [info@forest.rd.pref.gifu.jp](mailto:info@forest.rd.pref.gifu.jp)

## ○研究成果発表

発表1 ツリーシェルターがスギ植栽木の食害防止と成長に及ぼす影響 森林環境部 大橋 章博

タイプの異なるツリーシェルター3種を用いて、シカに対する食害防止効果および苗木の成長に及ぼす影響を評価しました。その結果、シェルターで被害を防ぐことができること、シェルターの種類によってスギ植栽木の成長経過に差があることがわかりました。

発表2 岐阜県におけるヒノキ根株腐朽被害の被害実態 森林環境部 片桐 奈々

ヒノキ根株腐朽被害は生きたヒノキの幹地際部や根が腐朽する被害で、被害部は木材としての価値が低下します。近年、県内一部地域で被害が確認され、対策を検討するため県内の被害実態を調査しました。その結果判明した被害の頻度や特徴等を紹介します。

発表3 野外でコナラの根にトリュフ菌を感染させる 森林資源部 水谷 和人

高級食材で知られるトリュフは菌根性キノコです。ここでは、国産トリュフの栽培化を目指して、野外に植栽したコナラの根に白トリュフ（ホンセイヨウショウロ）の菌を接種しました。結果、新たに菌根が形成し、野外で人為的に白トリュフ菌を感染させることができました。

発表4 森林路網の災害リスク評価 森林資源部 臼田 寿生

既設森林路網における災害を未然に防ぐためには、災害リスクに対応した適切な管理が重要です。そこで、既設森林路網の災害リスク評価手法を検討し、適切かつ効率的な路網管理の支援を目的とした災害リスク評価参考図を作成しました。

発表5 中温域でのスギ心去り平角材の人工乾燥事例 森林資源部 土肥 基生

スギ大径材からは、平角を2丁取りで製材することが可能となります。この「心去り平角材」の乾燥には様々な方法が考えられますが、今回は、中温乾燥した場合の乾燥速度・表面割れ・内部割れの発生状況について報告します。

## ○その他研究成果資料の配布

研究成果資料については、森林研究所ホームページ (<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp>)にて7月15日(木)～7月23日(金)の期間公開します。成果資料に関する質問については発表会の総合討論時やホームページ記載のアンケートフォームにて受け付けます。

- ・元肥と播種時期がヒノキ実生コンテナ苗のサイズと得苗率に及ぼす影響

森林資源部 茂木 靖和

ヒノキ実生コンテナ苗を短期間で得苗する条件を明らかにするため、播種時期と培地の元肥条件を変えて4月から約8ヶ月間育苗しました。早期に得苗するには、根元径を太くする条件を明らかにする必要がありますと思われました。

- ・育成方法の異なるヒノキ実生コンテナ苗の多点データを用いた初期成長の評価

森林環境部 渡邊 仁志

裸苗、標準コンテナ苗、超緩効性肥料を与えて育てた改良コンテナ苗の成長成績(67調査区約4200本分)を比べました。改良コンテナ苗は、一般的な傾向として他の苗より植栽初期の成長が優れていました。現在、県内で生産されたヒノキ・コンテナ苗の多くは成長に配慮したものになりました。

- ・高精度情報を用いて森林管理を支援する取り組み

森林環境部 久田 善純

森林管理を支援する情報づくりのために、航空機レーザ測量や高頻度撮影衛星画像などのデータを用いて、手入れ不足の林や森林伐採の動向などを把握する技術の開発に取り組んでいます。今年度はテスト成果を関係する市町村などに提供し、ご意見をいただく計画ですので、その概要をご紹介します。

- ・森林作業道の土構造による横断排水の機能評価

森林資源部 和多田 友宏

森林作業道の土の掘り込みと土盛りによる横断排水において、排水施設の状況と越流の有無について県内既設森林作業道7路線で調査しました。調査の結果、排水施設の高さの最小値が25cm未満で、集水区間距離が40mを超える施設では、路面水が越流し、排水施設の機能が十分に発揮できていないものが確認されました。

- ・ヒノキ心去り正角を用いた3段接着重ね材の構成材料と完成品の動的ヤング係数の関係

森林資源部 田中 健斗

中心定規挽きしたヒノキ心去り正角から3段重ね接着重ね材を試作し、非破壊強度試験を実施しました。構成材料3本の動的ヤング係数の平均値と完成品の動的ヤング係数は非常によく一致し、完成品の動的ヤング係数を組み合わせ段階で推定することが可能であると考えられました。